

京都市教育長賞

「大人だから」

京都市立勸修中学校 3年

新井 ひかる



「大人だから」子供の時、誰もが一度は言われた事があるこの言葉。私はとても便利な言葉だと思ふ。お酒を飲んでも良いのは「大人だから」たばこを吸っても良いのは「大人だから」大人はいつもこう答える。私たちは何の疑問も持たない。それが当たり前だからだ。

「四月七日から五月六日の一ヶ月間、外出の自粛を強く要請する。」

四月に出された緊急事態宣言は、このような内容だった。こうなる事は予想していたし、きっと多くの人が考えていたと思う。しかし、ある一部の人々の行動は、私の予想とは大きく違っていた。幼い女の子は、動画サイトでカメラの向こうにいる母親にこううったえる。

「電車やバスを見に行きたいけれど、今はがまんだ！」

こんなに小さいのに、きちんと理解しているんだなと感心した。動画には温かいコメントがたくさん寄せられていた。

新聞のちいさな記事。急いでいけば読みとばしてしまうようなそこには、窓にびったりとほりつく男の子の写真があった。きつと外に出て走りまわりたいに違いない。必死にがまんしている様子は、可哀想だけども微笑まじいと感した。

そして、夕方のニュース。学校もなく、何となくつけていたテレビでそれは流れた。

「僕はうつらないから。」

彼は、笑いながら言った。開店前からパチンコ屋に並ぶ、立派な大人だった。

「まあ、別にコロナになっても……」

「僕は大人だから。自分で管理できますよ。」

そこには、一体どれほどの自信と根拠があるのだろうか。

私は、呆れとともに怒りを感じた。彼らは知らないだろうか。もう自分達だけの問題ではないことを。彼らは知らないのだろうか。自分達よりはるかに幼い子供達が、耐えていることを。

出歩くなど言われているのに勝手に出歩いて感染するのは自業自得だと思う。しかし、それを周りにうつしてしまつたら？そしてもしうつしてしまつたのが高齢者だったら？おそらく高い確率で重症化するだろう。最悪の場合、命を落としてしまうかもしれない。

彼らは考えなかつたのだろうか。いや、一度は考えたはずだ。毎日のように流れるコロナのニュ

ースで、何度も何度も聞いてきただろう。考えた上での行動なら、それはなおさら無責任だ。

私がもし彼らの子どもだったら、こう言うだろう。

「お父さん。どうして外に出るの？」

このシンプルな質問に彼らはどう答えるのだろうか。やはり、「大人だから」そう答えるのだろうか。しかしこの言葉は、大人がきちんとルールを守っている上で成立する言葉だと私は思う。この言葉の矛盾に、彼らは気づいているのだろうか。

「大人だから」この言葉を私が使う側になるのは、そう遠い未来ではない。あと五年もすれば大人の仲間入りだ。ただ、私は勝手な思い込みや、都合の良い言いわけで行動する大人にはなりたくない。

「大人だからこそ」自分の行動についてよく考え、責任をもちたい。大人は、常に子供の見本となる存在だ。彼らには、もう一度自分を振り返る時間を作ってほしい。そして、「大人だからこそ」行動を改めてほしい。

再びコロナが流行りだし、人々の不安が高まりつつある今、彼らはどう動くのか。また同じことをくりかえすのか。私たちの未来は、彼らの行動にかかっている。